

ごあいさつ

平素は私仙谷由人と民主党へあたたかいご支援と力強いご声援、また時々叱咤激励をして下さり、皆様へは心より感謝申し上げます。

民主党は、国民本位の政策作りに精力的に取り組んでおります。財源が限られている難しい状況のなか、国民の皆さんが必要とする政策を、責任をもって打ち出せる体制を作り出すため、日々奮闘しております。

そういった、我々の考えや意思を具体化したものが昨年とりまとめた「新成長戦略」です。

「元気な日本」復活を目指して、日本の中長期的な行動計画、新たな需要と雇用の創造に向けた施策を、政府が党と一体となって議論し、国民の皆様へ提示させていただきました。

国際競争力を家計、企業、国とすべての経済主体で取り戻すこと、ハヤブサとお二人のノーベル化学賞受賞に象徴される世界に認められる日本の優秀な知能と技術、「ものづくり」や日本の水道、高速鉄道などの「インフラパッケージ」をさらに継承、海外発展させることが戦略の目指すところです。

私も、このたび党でお役目を頂戴し、新成長戦略実現本部を立ち上げ、日本が誇る技術と技能、産業やサービスを日本や世界に発信できる運動を手がけます。また「新しい公共」が目指す地域の自助共助に光をあて応援する政策の具体化と広報活動にも力を注ぎたいと思います。

なかなか徳島にも帰ることもままならず、時には私自身も焦燥感にかられることがあります。ただ今は、仙谷由人に与えられた天命を、そして、現在の職務をやり遂げることが、皆様方へのご恩返しと思ひ定めて、全力で毎日を過ごしていることをご報告させていただきます。

本年4月に統一地方選挙が行われます。「元気な日本」復活のためにも、民主党政権の最前線で働いてくださっている地方議員、また、地方議員を志す者へのご支援を、地方自治に新たな息吹を吹き込む戦いへの応援を、なにとぞお願いいたします。また皆様方におかれましては健康第一に、ご家族ともどもご自愛されますようお祈りいたします。

2011年3月吉日

仙谷由人



2011年2月10日
vol.32
Sengoku Yoshito

新成長戦略 希望を作る

仙谷由人全国後援会機関紙

仙ちゃんレポート

photo Calendar 活動の軌跡

2010年

- 3月20日** 香川県直島を視察。古民家で団扇を作る職人さんと話をする仙谷由人と古川元久副大臣 ※国家戦略担当
- 3月21日** 神戸市長田区で鉄人28号のモニメントの前で、市民の歓迎を受ける仙谷由人
- 4月11日** 徳島駅前にて街頭演説会
バス停で支持者と久しぶりの徳島に
- 4月15日** ベトナム計画投資大臣との意見交換
※ベトナムと日本の戦略的パートナーシップについて意見交換
- 4月19日** 神奈川県海老名市の社会福祉法人「中心会」を訪問。介護士の資格を目指すインドネシアからの研修生と
- 4月30日** 上海万博 日本館 開館式に臨む
福山哲郎氏と仙谷由人
- 5月14日** 「新しい公共」円卓会議
※「支え合いと活気のある社会」を作るために、国民、団体、企業、政府などが、一定のルールと役割をもって当事者として協働する。
- 5月15日** 「仙カフェ」徳島の若手による異業種交流の会で30~40代のリーダーと意見交換
- 7月 7日** 日本外国特派員協会にて講演
- 11月23日** 民主党徳島県連大会に、電話で参加
※当初予定していた徳島戻りが叶わず、電話で参加者へのご挨拶。参加者からはあたたかい激励のメールを戴いた。

2011年

- 2月13日** とくしまマニフェスト2011発表大会で記念講演
- 2月24日~**ベトナム訪問 チュオン・タン・サン 党書記局常務と会談(2月26日)

ご寄附のお願い

いつも物心両面におきまして、あたたかいご援助、ご協力をいただき、本当にありがとうございます。
皆様にはお世話になってばかりですが、仙ちゃんスタッフ一同、今年も元気いっぱいがんばってまいります。今後とも皆様の力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

●口座名 「仙谷由人全国後援会」
銀行口座 三菱東京UFJ銀行 銀座支店 普通預金 3572391
郵便振替 00170-4-187008
※2000年1月の政治資金規正法改正により、ご寄附をいただけるのは個人のみになりました。

仙谷由人
全国後援会

仙谷由人全国後援会事務局：〒105-0003 東京都港区西新橋2-19-2 西新橋YSビル2階 tel.03(3508)8023 fax.03(3508)3235
東京事務所：〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第1議員会館803号 tel.03(3508)7235 fax.03(3508)3235
徳島事務所：〒770-8053 徳島県徳島市沖浜東1丁目64番地 仙谷由人後援会事務所 tel.088(626)1059 fax.088(655)9130
URL: <http://y-sengoku.com> E-mail: office@y-sengoku.com





希望を作る。 「新しい成長戦略」

仙ちゃんリポート
特別インタビュー
仙谷由人

これからの成長戦略

政権交代から、行政刷新、国家戦略大臣から官房長官と、この間を振り返り、また日本にとって主要課題だと思われていたところはなんでしょうか。

今、世界を見渡したとき、一つの特徴的な事象があります。それは途上国と言われていた国々がダイナミックに成長を遂げているその一方で、先進諸国が軒並み悶え苦しんでいるという状況です。こうした現象を読み解くキーワードは、産業構造の転換、そして「グローバルイノベーション」（地球規模化）、これらを加速させる「ITの進展」ということだと思えます。私の時代認識では、20年程前から日本はグローバルイノベーションという大きな波に洗われて「第三の開国」という状況、つまり、明治維新、第2次世界大戦の終結に続く、第三の開



つくる、資本を呼び込む、観光客を呼び込むということを国策として展開をしなければなりません。この他にも、昨年末、私はメガネベストドレッサー賞を頂きましたが、私にかけているこのメガネ、福井の鯖江というところで作られています。鯖江には工場が300もあり、なんと世界の75%ものシェアを占めているのですが、例えばデュポンのマークが付けれられ2、300万円の値段で世界に売られていたりします。ところが、鯖江では同じものが4、5万円なのです。つまり、ブランド力を持つ海外の会社に4、5倍の価値を持って行かれています。他にも、広島島の橋本の和筆が、化粧筆としてルイヴィトンのブランドで売られていたりしています。

日本の素晴らしい技術、文化、コンテンツを政府が世界展開のお手伝いをする。中小企業ではリスクの取れない中で、ブランディング、ファイナンス、保証、宣伝を政府が行っていくことが、日本の成長にとって非常に重要になっていきます。

選挙に勝つか負けるかが自己目的化すると、政策よりも、国家の方向性よりも、とりあえずの選挙に勝つか負けるかということになるので、とにかく下ろす式の批判をしていくこととなります。社会保障が伸び始め、経済構造、産業構造を大転換しなければならぬこの時期に、政策を中心とした、まさに熟議を議会で実現させなければなりません。

一方、今年4月には統一地方選挙があります。地方議会の現状をどう考えますか。

今、政府では、ひも付き補助金の一括交付金化や、国の出先機関の地方移管など、これまでなかなか進まなかった地域主権改革の議論を一気に進めています。そこで、受け皿である地方議会もしっかりとした議論のできる場である必要があるのですが、現状では一部で「三不議事」と言われるように、首長が提出する議案はほとんど無修正で可決され、議員による条例提案は極端に少ない、そのうえ情報公開も進んでいない、というのがほとんどの実態です。

民主党政権では、「新しい公共」という考え方も重要な理念のひとつに据えています。地域で生きるすべての人に居場所と出番があり、みんなが人に役立つ喜びを大切にする社会のことです。私はこういった考えに是非地方議員の方々にももっと



国期にあると考えています。このような時代において、日本の新しい成長戦略をどのように作っていくのか、これが私の課題と考えてきました。

例えば、どのような戦略でしょうか。

一つには、日本には非常に素晴らしい要素、技術があるので、これを組み合わせるとどんどん輸出していくことが考えられます。具体的には、原子力発電所や新幹線、上下水、農業用水などのインフラを一括して海外に輸出していきます。これまで日本ではこういう輸出は行われてきませんでした。物が大きいために国家が後押ししなければ難しいのに、その役目を国がやってこなかったのです。

昨年の5月には、ベトナムに行ってきました。私だけでなく、菅総理をはじめ多くの議員がベトナムに行きましたが、その甲斐あって、原子力発電所の建設を日本が受注することに成功しました。

日本は医療の分野でも、世界に冠たる技術を持っていますが、やはり産業として生かし切れていない部分があります。例えば、ガン細胞の検査において、「PET」という技術があります。これは東北大学で開発され、製品化も進められていたのですが、結局日本では、放射能規制がもの凄くきつくて量産化できる体制にならず、アメリカやドイツに行かれています。今から9年前、私が胃がんになったときには東北大学の「PET」検査を受けたのですが、最近がんセンターに行つて「PET」を受けると、なんと機械は*GE社製でした。日本では行政の様々な規制と縦割り構造の中で製品化、産業化が遅々として進みません。



共鳴して頂きたいと思っています。議員とは自分たちの地域や自治体のために存在する存在なのか、地域住民のみなさんにも、そして地方議員ご自身たちも改めて思いを致してもらいたいと思います。民主党としても、例えば4年前の統一地方選挙で推進したローカルマニフェスト運動、特に議員提案条例制定運動を中心にして、地方議会を活性化する運動をもう一度すすめたいと思つて行動しています。

これからは党の代表代行という立場です。政府与党一体と言われますが、今後は党の立場からどのように行動していきますか。

民主党政権として打ち出した政策を、実際に地域で実践していくのが政党の役割だと思つています。運動面から地域に成長戦略や新しい公共を根付かせていく活動をしていきます。

そもそも私たちが作つた新成長戦略は、ものづくりを中心とする日本の技術、つまり地方が元来持っている力を活性化させて元気になるうというプロジェクトです。しかし、どうやったらいいのか、まだまだ理解をされていません。だから我々が党の若手と一緒に地域に入つていき、その素晴らしい技術や文化をどんどん掘り起こしていきたい、活性化のキーとなる地元の人材をどんどん育てていきます。

市民公益税制を始め、「新しい公共」の政策でも地域社会を復活させていきます。今年初頭のタイガーマスク現象を一過性のものとするのではなく、当り前の文化とするような社会、住民が自ら参加

トルコでも取れる見込みが出てきています。今後、若手の議員の皆さんとも一緒に、どんどん海外に行きたいと思つています。

少し話は変わりますが、日本についてのアツピールも政府が絵を描いて実行しなければならぬ成長戦略の一つです。5月にベトナムに行つたときに、驚いたことがありました。それは、今やファッション、芸能、スポーツ、この分野において東南アジアでの韓国の勢いというのは相当凄いです。韓国がどういう戦略でやっているかという点、実は韓国は東南アジアでドラマなどを無料でどんどん流しています。すると、どういうことが起こるか。韓国のファッションは素晴らしいと、大変人気になるのです。観光客も沢山来ます。これまでマンガ、アニメを始め日本がアジアの中では圧倒的にリードしてきたのですが、追いつけられています。こういうPRは民間企業にはできません。一元的に「日本株式会社」として、日本のファンを多く

れる日本の「医療イノベーション」を起こす司令塔となります。最先端医療技術から、町工場を持つものづくりを生かした医療機器開発まで、世界に通用する技術の実用化を目指していきます。そのために、縦割りを排除する、産学官一体で、研究開発の基礎から実用化まで切れ目ない研究開発費の投入や研究基盤の整備に取り組みます。

*PET = ポジトロン断層法 (positron emission tomography)
陽電子検出を利用したコンピュータ断層撮影技術
*E社 = セネラル・エレクトロニクス、世界最大の複合企業、
本社がアメリカ合衆国コネチカット州

成熟した国家に 相応しい議会をつくる

政権交代をしてから1年半が過ぎました。参議院での「ねじれ」など、改めて政治の在り方が問われていると思えますが、どう考えますか。

これからの時代、先進国は軒並み少子高齢社会を迎え、20世紀のような爆発的な成長は見込めません。このような経済、社会が成熟期に至つてきている時代においては、政治のあり方もそれに相応しいものでなければなりません。

それは、政権交代が行われる民主主義であつて、なおかつ、議会で豊かな議論がなされ、新たな合意形成が行われる政治です。今の時代、ある意味でイデオロギー対立というのは無く、体制選択の政治から、政策競争の政治に変わつて本来は久しいはずですから、議会の議論を通じて政策をどんどんと前に進めていける、そんな政治を作ることができるとは思いません。民主主義、法治国家というのが、名実共に作られなければなりません。

し、問題を解決していく地域社会が実現できるように実践していきたいと思えます。

われに万古の心あり！

私の友人に松本健一という思想家がいました。越後長岡の小林虎三郎のことを『われに万古の心あり』という本に書いています。虎三郎は、戊申戦争の敗戦国となった長岡藩の政治の責任者になるのですが、援助物資として送られてきた米百俵を、みんなに配らず、むしろ将来の子どもたちへの投資、教育のために学校を作つた人でありました。松本さんは、このことを、「遠望するまなざし」と評価しているのですが、私もそうでなければならぬと思つています。政権交代から1年半余、危機的な状況にある日本ではありますが、この変わり始めた政治の潮流を絶やさず、将来世代へつないでいきます。皆様方のご理解をいただきますれば幸いです。

